

東海カード会員だより

2021年9月20日発行

東海大学新聞掲載記事 (2021.8.1号)

望星丸で2度目の医療チーム派遣

小笠原村でのワクチン接種支援

医学部付属病院群の医療チームを乗せた東海大学の海洋調査研修船「望星丸」が7月16日、東京都小笠原村での新型コロナウイルスワクチン接種の第2回を終え清水港に帰港した。

東京都と小笠原村、東海大の3者は、同村における新型コロナウイルスワクチン接種に係る連携・協力に関する協定を締結。船舶でしか訪問できない同島に、医師、看護師、薬剤師らで構成した医療チームを6月と7月の2回にわたって派遣し、12歳以上64歳以下の希望者に向けた集団接種を行った。

第2回の接種には医学部付属病院高度救命救急センターの本多ゆみえ講師ら計10人で構成したメンバーが望星丸に乗船。10日に清水港を出港し、12日に父島・二見港に到着すると、13日と14日に海上自衛隊父島基地分遣隊の体育館で合計935人のワクチン接種を完了した。

帰港した本多講師は、「6月の1回目の接種での反省点をしっかりと引き継いだことで、現地では非常にスムーズに接種を行うことができました」と振り返る。望星丸の上河内信義船長は、「2度の航海を無事に終えることができ、達成感と安堵感を得ています。同時に東海大の総合力も実感する機会となりました」と話していた。

児童教育学のあり方を考える

【第1回教育セミナー2021】ICTの活用例から

東海大学が7月14日にオンラインで、第1回教育セミナー2021「これからの保育・教育を考える」を開催した。

東海大は建学80周年にあたる22年度に「日本まるごと学び改革実行プロジェクト」と題した改組改編を行い、現行の19学部75学科・専攻・課程の教育・研究体制から23学部62学科・専攻に移行する計画を進めている。セミナーは、開設が予定されている児童教育学部(設置認可申請中)の理念や教育・研究活動を周知するとともに、企業や行政、大学など研究機関の識者らと児童教育学のあり方を考える機会として全4回を予定している。

初めに内田晴久副学長(企画調整担当)が開催趣旨などを説明し、「人格形成に大きな影響を与えるとされる幼児期の教育について、実際に保育の現場で活躍する方々と意見を交わしたい」とコメント。児童教育学部(仮称)設置準備室の山本康治教授(スチューデントアチーブメントセンター)は、コロナ禍など多様な社会変革が保育の現場に与える影響を解説した。

続いて畿央大学教育学部准教授の中村恵氏が、「子どもの世界を広げる『ICT環境』」と題して講演した。中村氏は、現在のコロナ禍におけるICTの可能性と課題を踏まえたうえで、具体的な活用事例を交えて紹介。また、文部科学省が策定した「幼児教育スタートプラン(仮称)」に沿ったこれからの幼児教育におけるICTの位置づけについて、フィンランドの幼児教育と比較しながら解説した。

最後に山田清志学長が閉会の辞を述べ、「本学には情報通信学部や文化社会学部北欧学科があるので、研究者の知を結集することで新たな教育の形を見いだせるはず。学部間連携を通じて、児童教育学部は東海大の独自性を持った学部としていきたい」と語った。

(裏面へ続く)

「黒はんメンチ」が販売開始

【商品開発プロジェクト】

学生のアイデアから生まれた静岡グルメの新定番

清水校舎で活動するスチューデントアチーブメントセンター・ユニークプロジェクトの「商品開発プロジェクト」が、静岡名物「黒はんぺん」から着想して静岡県内の企業3社と共同で開発した「黒はんメンチ」が、7月22日から(株)天神屋の全27店舗で販売されている。同日には、静岡市駿河区の天神屋曲金店でメンバーが店頭立ち、来店客に向けて静岡の新グルメを勧めた。

黒はんメンチは、2018年度に当時のメンバーたちが“魚離れ”に一石を投じようと、静岡名物の黒はんぺんに着目して発案した。

イワシやサバのすり身を使った黒はんぺんは「静岡おでん」の具材などに使用され、静岡のソウルフードとしても定着している。一方で、生臭さが苦手な人も少なくないことから、学生たちは魚の旨みを残しつつ臭みを軽減して苦手な人にも食べてもらえるようにしようと試行錯誤。ショウガやナツメグ、ニンニクなどを加えて臭みを抑え、さらに魚のすり身に、鶏ひき肉やおからを混ぜ込むことで、パサつきを少なくするレシピとし、パン粉に黒ごまを混ぜることで見た目の「黒」も強調した。

19年度からは、魚の加工食品製造会社である(株)シヨクザイの協力を得て、商品化に向けてレシピを相談。その後、(株)丸又と天神屋とも連携を図り、約3年をかけて完成にこぎつけた。

天神屋曲金店での販売では、開発に携わってきた小林愛冬さん(海洋学部3年)をはじめ4人が参加。「東海大生が地元企業と開発した新しい商品です。ぜひお試しください」と呼びかけた。小林さんは、「試作段階から改善を繰り返してきました。多くの人に購入してもらいたい」と笑顔で語る。指導する海洋学部水産学科の後藤慶一教授は、「作って終わりではなく、商品として定番化することが真の成功。学生たちには商品開発の楽しさにとどまることなく、実際に店頭での販売に至るまでの課題に向き合うことで、社会で通用する力を身につけてもらいたい」と話していた。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365 システムによる生涯メールアドレスの利用

(tokai-u.jp のドメイン) 詳細は以下 URL をご覧ください。

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

インターネットホームページについて

URL : <https://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)

<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)

<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

東海大学校友会(校友会・白鷗会・同窓会)事務局

学校法人東海大学学園事務センター(学園校友ユニット)

〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)

E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学キャンパスサポートオフィス(後援会担当)

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)

E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp